

ぶち冬

2009.冬
Vol.14

らいふホームページ <http://life.daikatsu-k.co.jp/>
らいふ通信 <http://green.ap.teacup.com/lifekaigo/>



らいふ萩園
らいふ松林
らいふ神明

「毎日歩行器を使用して廊下を往復していますが。」
(阿) 歩かないと弱ってしまっから、特に足はすぐにだめになってしまふ。午前、午後1回ずつ歩くようにしています。前にいたところは自由に歩くこともできなかったんです。



優しく声をかけてくださる阿部さん

行ったときは必ず負けるんだよ。テレビで見ても負けてると腹が立つて見るのをやめてしまっただけで、翌日の新聞で逆転してたりすることがあるね。若手が成長してきたから

腰痛などつらいときもあると思いますが、これからは元気に過ごしていきたいと思います。こちらこそ宜しくお願いします。

部屋から出ることも少なくなつたらなかつたです。ここは、あれはだめ、これはだめというのあまり無いので自由に生活できますよ。
— お部屋にはジャイアントのグッズが多いですね。
(阿) 王、長嶋の時代からの巨人ファンです。子供たちや所長さんが持つてきてくれたんですよ。昔はよく後楽園まで観に行っただけで…今も行っただけで…今も行ってはみたいんだけどすぐに腰が痛くなつちゃうんだよね。でも、自分から

らいふインタビュー
阿部浅夫さん



— らいふ神明にはじめて来た時の第一印象は？
阿部さん 建物がとてもきれいでびっくりしました。部屋もきれいで広くて良い所だな〜と思ったね。ここに入るまで3ヶ所の施設を利用したことがあったんだけど、このスタッフさんはお世辞ではなくとても明るい。優しくて親切な人ばかりで感心しました。最初のころは、隣の部屋の人の声が気になってイライラしたこともあったけど今ではあまり気にならなくなりましたよ。
— 今年4月で1年を迎えるらいふ神明のグループホーム(以下GHと略す)には現在9人の方がお住まいです。今号ではここに暮らす阿部浅夫さんにお話を伺いました。阿部さんは昭和7年4月25日生まれの77歳。東京都でお生まれになり、終戦後は千葉、埼玉で暮らしていました。藤沢市内のGHに入居後、平成20年8月1日にらいふ神明に入居されました。

今年も大丈夫でしょう。
— お正月にお酒を召し上がったましたね。
(阿) いや、おいしかったですね。5、6年飲んでなかったのに飲みましたよ。昔の元気だったころのつもりで飲んでしまつて、良いもんですよ。楽しかったのです。写真を撮られていたら恥ずかしいからね。夜寝るまで顔が熱かったから。施設で生活していく中で全てが思いどおりにはならないと思っただけで、ここは快適に過ごせる場所。自分たちの生活をスタッフのみんなが良く考えてくれてる。今のところ不満は無いですね。ほかの方と話もできるし、これからは楽しく過ごしていきたいと思います。これからも宜しくお願いします。



神明

平成20年1月13日 らいふ神明のお客様と寒川神社まで初詣に出かけました。皆さん何をお願いしてきたのでしょうか。「お賽銭持ってこなかったけど叶えてくれるでしょうかね〜。」日ごろの行いが良いのできっと大丈夫でしょう。



らいふ 歳時記 event 萩園

らいふ萩園では今年も楽しい催しをいっぱい予定しています!



元旦の朝、三島神社に初詣。今年もいいことがあるはずよー!

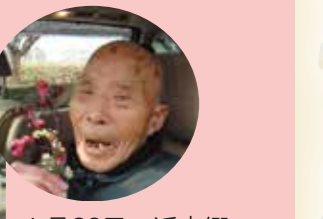


1月9日今年初の園芸レクリエーションです。「花瓶つくりと好きな花を自由に生ける」のが内容です。

松林



とてもきれいに完成しました



1月20日、浜之郷の小出川治に梅が咲きました。早々と梅見物です

デイサービスでオセロに興じる女性人と、編集部デスクに顔を出してくださる塩崎さんに遭遇したので写真にとらせてもらいました。



編集後記

ぶち冬2009の特集記事では、らいふで働く皆さんの顔が見え、話が伺えてよかったです。編集部は今年も頑張りますので宜しくお願いします。皆様のご意見や投稿をお待ちしています。(み)

編集部よりの第2回介護セミナーのお知らせ

らいふ介護事業部では、「安全な介護」でおなじみの山田滋さん(株式会社あいおいコンサルティング:主任コンサルト)をお招きして『デイサービスのリスクマネジメント』をテーマに事故防止のセミナーを行います。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

- 場所 デイサービスらいふ萩園 2階研修室にて
- 日時 3月28日 18:00~20:00 入場無料
- 申し込みお問い合わせはらいふ介護事業部まで

電話0467-55-5102 FAX0467-55-5103

らいふ萩園
デイサービス
居宅介護支援センター
〒253-0071 茅ヶ崎市萩園2822-1
TEL0467-89-5277

らいふ松林
小規模多機能型居宅介護
〒253-0017 茅ヶ崎市松林2-6-34
TEL0467-54-8591

らいふ神明
小規模多機能型居宅介護
グループホーム
〒251-0021 藤沢市鵠沼神明2-12-17
TEL0466-21-7893

らいふ通信「ぶち冬」冬号Vol.14
2009年1月31日(季刊発行)
編集/ぶち冬編集部
神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
〒253-0071 TEL0467-55-5102
発行/大勝建設株式会社介護事業本部

らいつ神明介護主任 橘美江



らいつ神明の開所前はらいつ松林で働いていました。ここで初めて小規模多機能型居宅介護というものを学ばせていただきました。それまで認知症の母を抱え大変な思いをし

ていた。「これほど家族にとつて使い勝手の良い通所施設はない！家族を支えるのは小規模多機能だ！」と感激しました。今は、らいつ神明で心の奥を感じ取る感性を持ったケアを心がけて働いています。「したくても出来なかったこと」「もう一度やりたいこと」など『想い』を叶えられるような介護ができる場所に



したいです。それから、らいつ神明のお年寄りやスタッフの顔を近所さんが覚えてくださるぐらい地域に出かけ、利用されているご家族が、『親の住む家にでかける』という気持ちになっていただき、家族ぐるみのお付き合いができたらいいなと思います。

【特集記事】2009年スタッフからのメッセージ スタッフの笑顔に出会いました。

らいつ介護事業部は茅ヶ崎に2箇所、藤沢に1箇所事業所ができてスタッフも100人をこえました。介護を支えるスタッフたち、今どんな事を感じながら働いているのでしょうか。

デイサービスらいつ萩園
ケアワーカー 小池和子



らいつ萩園の理念「心を添えてともに生きる」、私がこの言葉を初めて目にしたのは、介護職として仲間入りさせていただいた4年前の1月のことです。これから実践できるかしら？初日不安でいっぱいだった私に笑顔で心を添えてくださったのは皆さまでした。以来100人を



超える方々と縁あって出会うことができた感謝の言葉をいただいていることは私の人生にとってかけがえない財産になることと思っています。5年目の冬、心新たに心通い合う瞬間を楽しみにともに生きて行きます。



私も皆さんに混じって楽しんでいま～す！

らいつ松林ケアワーカー 関慎一郎

この仕事をやりたいと思ったのは、小学生の頃からでした。けど中学校に上がると遊ぶことしか考えられなくなっていました。友達にも「介護」の仕事に対して何かわかんないが恥ずかしいと思い、口に出さずに生活をしてきました。平成19年の10月に遊んでいたこと少し悪いことをした事から施設に入ることになりました。そのことがきっかけとなり色んな本を読んでも働けることを知り、強く本気でやってみようと思いました。そんな時、自分のおばあちゃんがお世話



になりました。そのことがきっかけとなり色んな本を読んでも働けることを知り、強く本気でやってみようと思いました。そんな時、自分のおばあちゃんがお世話



に「らいつ松林」の小室所長に親父から話をしてくれ、今「介護」の仕事をしています。色々な経験をしていく中で一番難しいと思うのは、相手の立場になって考えることです。声をかけられて呼ばれても「今、俺は・・・」と何か理由をつけて後回しにしてしまうこともあります。楽しかったりするの、おじいちゃんやおばあちゃんの話聞くことです。その中でまだ自分は甘えていることや足りない所を学ぶのが楽しかったりします。嫌なことは正直に自分のおばあちゃんに色々と文句やわがまま

孫のような僕ですが、よろしく願います。



ケアマネQ&A

Q 同居している義母が高齢で動けなくなってきたので介護保険を申請したいと思えます。認定調査ではどのようなことをするのでしょうか？

A 市の職員や市から委託を受けた介護支援専門員が家庭や病院・施設などに調査に伺います。日常生活の心身の状況を聞き取り、実際に動作をしてもらうこともあります。全部で82項目あります。

Q 調査を受けるときに何か気をつけることがありますか？

A できるだけご家族は立ち会ってください。日ごろの状況をメモにとっておき、介護に関することは何でも話すようにしましょう。申請してからおよそ一ヶ月で結果が出るはずですよ。



茅ヶ崎ガイド総集編

名所旧跡・道シリーズを終わって市内ガイドで締めくくります。

1) 市内の文学碑

戦前、南湖院という東洋一のサナトリウムがあった関係で、多くの著名人が足跡を残し、文学碑が建てられています。作家・国木田独歩(野球場)、婦人運動家・平塚らいてう(高砂緑地)、詩人・八木重吉(美術館)、他に作家・仮名垣魯文(萩園の三島神社境内)があります。

2) 市内めぐり散歩コース

市役所や各公民館主催の市内めぐりの散歩コースは年に何回も行われます。次にあげたコースは実際に実施されたコースです。このうち障害者の私が参加できたコースも多々ありました。どのコースでも結構ですから、まず、出かけて見ましよう。「ふるさと」が再発見できます。①源氏ゆかりの地を訪ねて：左富士碑―弁慶塚―旧相模川橋脚公園―鶴嶺八幡宮
②ラチェン通りから海岸へ：ラチェン邸跡―佐々木卯之助碑―開高健記念館―ゴルフ場―海岸
③別荘地を訪ねて：団十郎別荘跡―東海岸―高砂緑地―茅ヶ崎館
④文化の香りを訪ねて：国木田独歩碑―南湖院―藤間邸(江戸時代の廻船問屋)



明治32年に竣工された「南湖院」

⑤景観まち歩きマップ(懐島プロジェクト)にそって：鶴嶺八幡宮、本社宮を中心とした浜之郷、矢畑地区―
⑥湘南の里山を歩く：県立里山公園―行谷、清水谷方面
3) 結び
茅ヶ崎を語る場合、今までご紹介したような色々な名所旧跡や道とともに、「湘南文化の香り」ともいえるべき、目に見えないが大切なものがあります。茅ヶ崎と言えば「湘南ブランド」です。当然、ここに住んでいる人や雰囲気も年月とともに変わってきます。かつて、若者が憧れたサーフィンと海の文化が単に変化するのではなく、成熟した大人の文化になる。茅ヶ崎の文化風土がそうあって欲しいと願っている一人です。(次回からは「湘南エッセイ」を書きます)



鶴嶺八幡宮を中心とした懐島地区